

総合テーマ

京都・奈良・大阪の文化遺産

上方の玉手箱

東京には皇居があり、国家のあらゆる機能がそなわっていますので、うたがいなく日本の誇るべき首都にちがいありません。しかし、その首都でさえ、地団駄ふんだところで、どうしてもおよばない、追いつかないところがあります。そこそが大阪・京都・奈良、つまり「かみがた」というところなのです。

そこには、永く、しかも悲喜こもごもの歴史が堆積しています。そして、豊潤な伝統文化が今も息づいています。しかも魅惑の文化遺産が蓄積されています。それらのいずれもが、決して「一朝一夕になった」ものではありません。

今回は、大阪・京都・奈良に「お宝さがし」に出かけてみます。さて、どんな「玉手箱」を目にし、中から何がとびだすことやら、おたのしみください。

第1講 2011年7月2日(土)

「武士の町 大坂」

—江戸サムライたちの大坂暮らし—

講師 藪田 貫(関西大学文学部教授)

■ 会場 関西大学東京センター
(JR東京駅日本橋口サピアタワー9階)

■ 受講料金 2,000円(1講座)

■ 開催時間 13時30分～15時00分

■ 定員 200名(事前申込制・先着順)

第2講 2011年7月9日(土)

「祇園祭」

講師 黒田 一充(関西大学文学部教授)

第3講 2011年7月16日(土)

「奈良のみほとけ—木・祈り・造形—」

講師 長谷 洋一(関西大学文学部教授)

お申し込み・お問い合わせ

関西大学東京センター

東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 9階

TEL : 03-3211-1670

FAX : 03-3211-1671

URL : <http://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/>

第4講 2011年7月23日(土)

「新発見 豊臣期大坂図屏風」

講師 高橋 隆博(関西大学文学部教授)